

インフルエンザ(2025 年第 39 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 39 週の定点当たり報告数は 1.04(患者報告数 4,030)となり、前週の定点当たり報告数 0.80 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(8.98)、東京都(1.96)、鹿児島県(1.68)、福岡県(1.55)、大分県(1.52)、長崎県(1.51)、埼玉県(1.43)、京都府(1.39)、三重県(1.31)、熊本県(1.31)、千葉県(1.30)、神奈川県(1.24)、大阪府(1.21)、茨城県(1.07)、福井県(1.05)、愛媛県(1.00)の順となった。全国 47 都道府県中、28 都道府県では前週の報告数よりも増加し、16 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 46 例であり、前週(50 例)から減少した。23 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(1 例)、1～4 歳(8 例)、5～9 歳(3 例)、10 代(5 例)、20 代(1 例)、30 代(2 例)、40 代(2 例)、60 代(1 例)、70 代(6 例)、80 歳以上(17 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 35 週～2025 年第 39 週)では、AH1pdm09 が 10 件(56%)、AH3 亜型が 7 件(39%)、B 型が 1 件(6%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト([https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html](https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html))を参照されたい。